

道路行政マネジメントの浸透と定着に向けて

(国土交通省道路局における取組み)

平成18年3月14日

国土交通省 道路局

マネジメントの浸透に向けた取組み

〔地域に浸透させるための取組み〕

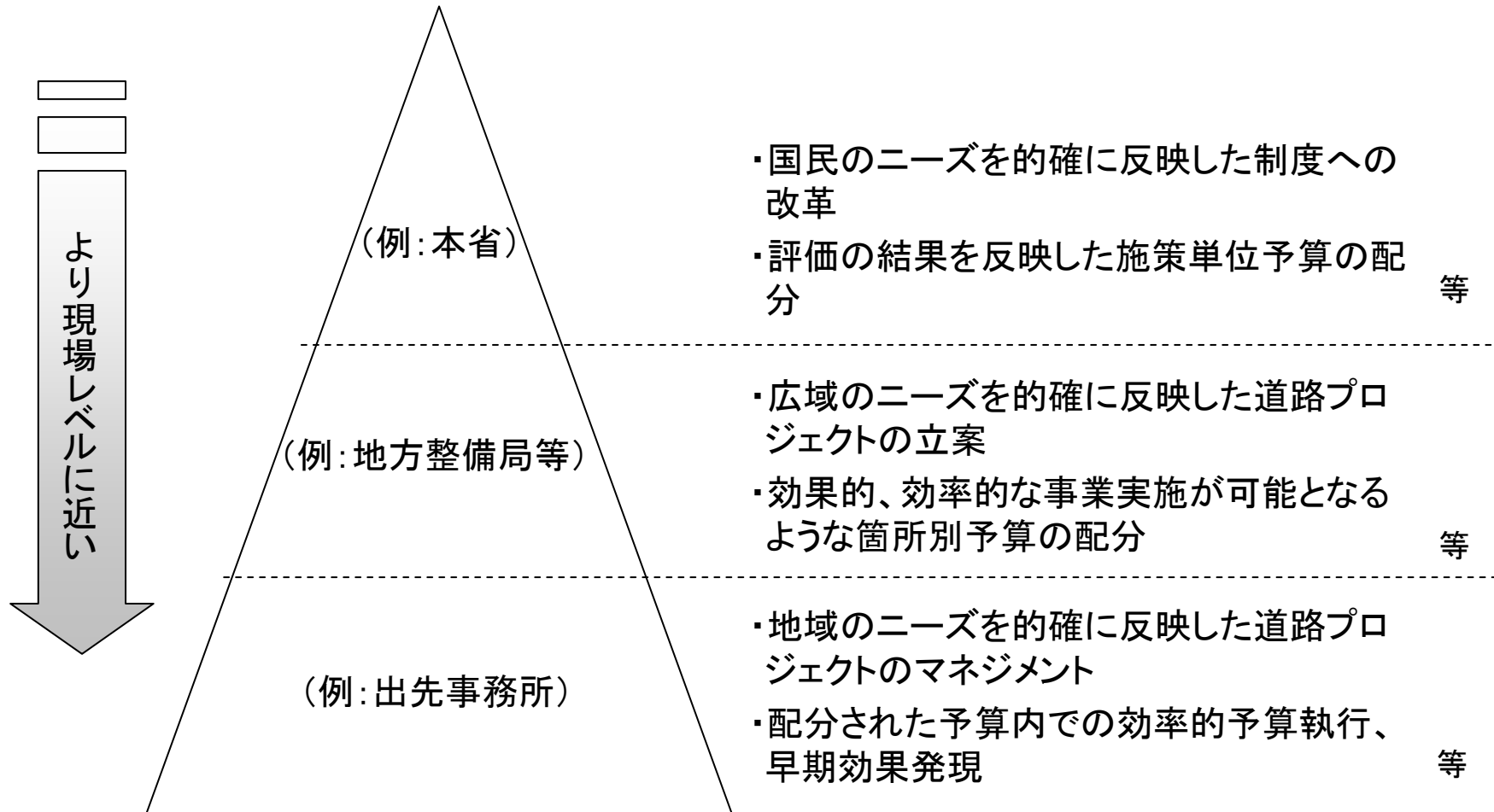
各機関の役割分担を明確化した上で、、、

- | | | |
|-----|---|--|
| 内部へ | { | ① 「道路行政マネジメントガイダンス」の作成
② 「好事例」の共有
③ マネジメント研修、講習会などの取組み |
| 外部へ | { | ④ 地域とのコミュニケーション |

等の取組みを進めている

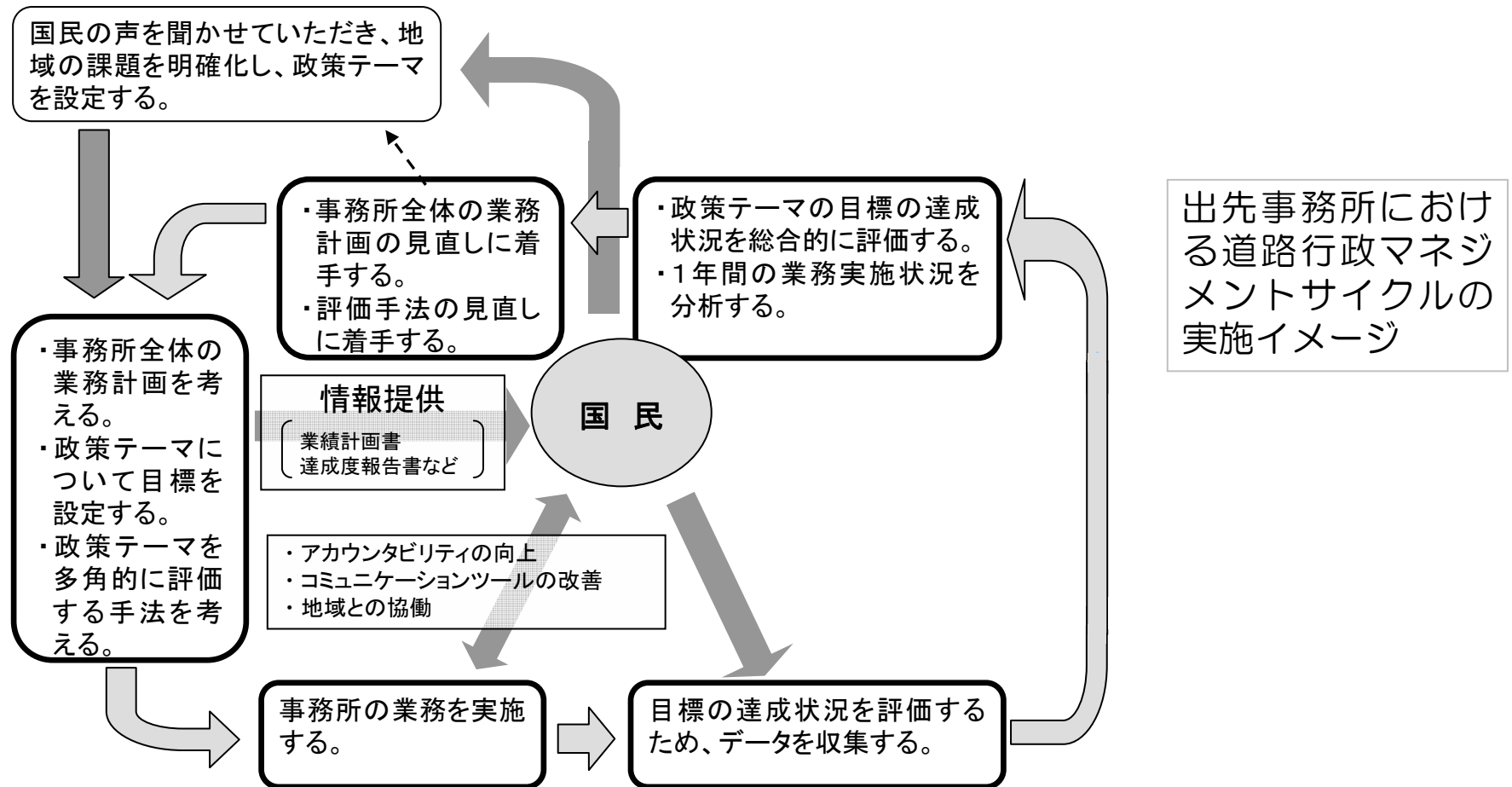
各機関の役割分担の明確化

本省、整備局、事務所各々の役割を踏まえつつ、成果志向の道路行政マネジメントを実践



出先事務所におけるマネジメントの取組み

出先事務所において、PDCAサイクルを実践。



事務所の内部経営(例:電気代など事務所の経費削減、アカウントビリティの向上方策などの業務の実施方法 等)

マネジメント研修、講習会などの取組み

【職員への浸透(内部マネジメント)】 道路行政マネジメントの内部への浸透を進めているところ

◇北海道 ◎道路三課出前ミーティング～

- ・職員一人ひとりへの浸透
- ・全職員を対象にミーティングを実施。

- ・本局が道路行政マネジメントの展開を説明
- ・各開発建設部が、開発建設部・各事務所・各事業所のマネジメントを説明

※全10開発建設部に開催



▲出前ミーティングの様子

◇東北

◎関係課も含めた横断的な連携強化

～本局、事務所・出張所等の位置づけを明確化～

- ・マネジメントプロジェクトチームの結成・始動
- ・イントラを活用した情報共有化

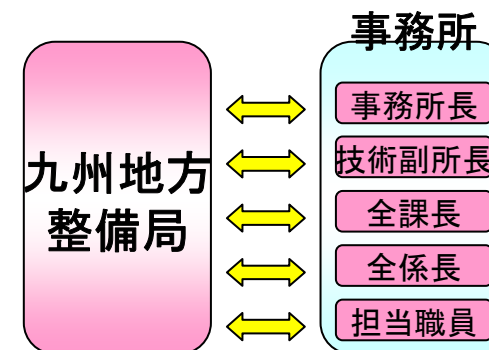


▲マネジメントプロジェクト外会議の様子

◇九州

◎全課出席による(春季・秋期)打合せ

- ・管内の現状の説明と各事業一体的な事務所の運営方針の説明。
- ・道路部長・局関係課長、事務所関係全課の出席



国民に見えるプロジェクトマネジメントが目指すもの

道路事業の課題(国民からの批判)

1. 道路整備の必要性、効果が理解できない。
2. いつ道路が供用されるのかがわからない。
3. コスト意識が低いのではないか。

道路整備の必要性と効果を国民に説明することにより、道路事業の透明性を向上

供用目標の公表、道路投資の選択と集中及び事業進捗管理の徹底により、道路事業の透明性と信頼性を向上

国民に見える プロジェクトマネジメント

中期計画ビジョン

5年以内目標宣言
プロジェクト

ちやくちやくプロジェクトの取組み (九州地方整備局の例)

ちやくプロ：利用者に見える道づくりを目指し、供用目標・効果の明示と進捗管理 H15.8～

事業の効率化： 規格・構造の見直し、スピードアップの工夫

対象事業選定： ①投資効果が高い、②進捗の環境が整っている、
③選択と集中で5年以内に供用可能



対象事業毎に： ①供用目標、②年度毎の進捗目標を設定・公表、
③予算・体制の確保、④収用制度の適切な活用



「有言実行の道づくり」

一般への情報提供充実

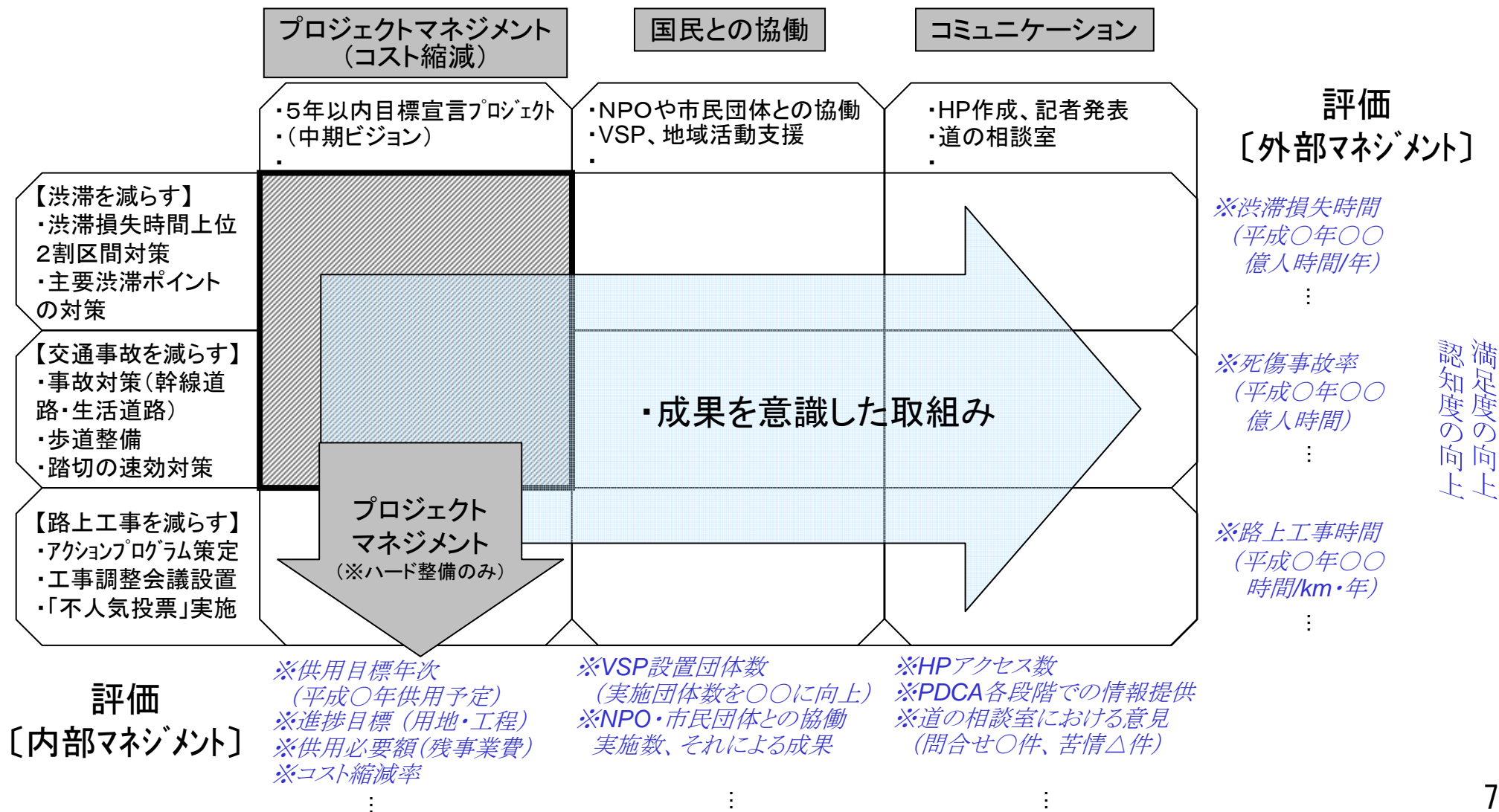
- 現場での明確な情報発信
- 説明責任の向上

プロジェクト管理の強化

- 関係者の意識統一
- コスト管理とスケジュール管理

内部マネジメントと外部マネジメント(イメージ)

渋滞を減らすなどの成果を意識し、成果を指標等により評価し、情報発信する(外部マネジメント)とともに、その課程でプロジェクトマネジメントやコミュニケーション等、内部マネジメントを実施。



今後の取組みの方向性

- 国民と協働する取組みの推進
- 国民に見えるプロジェクトマネジメントの推進
- PDCAの各段階での情報提供
- 役割の明確化

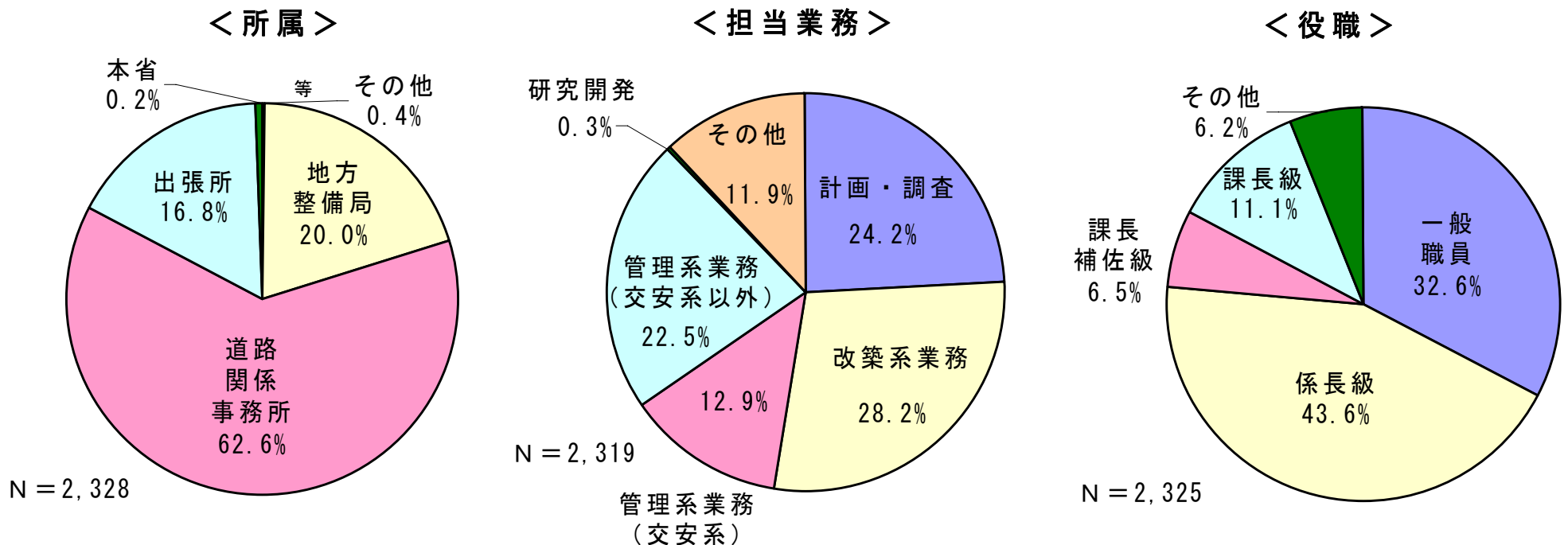
(職員アンケート結果)

職員アンケートの実施(平成17年11月)

平成17年11月に地方整備局等職員を対象にアンケートを実施し、現状の意識の確認及び課題を抽出。(全国10地方の職員2,361名から回答(回答率66.9%))

- ✓全国職員を対象としたアンケート調査を実施することで、マネジメントの取組みの成果を職員の実感から把握。
- ✓「認知(・関心)」、「利用」、「有効性」の各段階でマネジメントの浸透の度合いを評価。
- ✓アンケートに回答することを通じたマネジメントの意識の理解促進も狙いの1つ。

職員アンケートの回答者属性

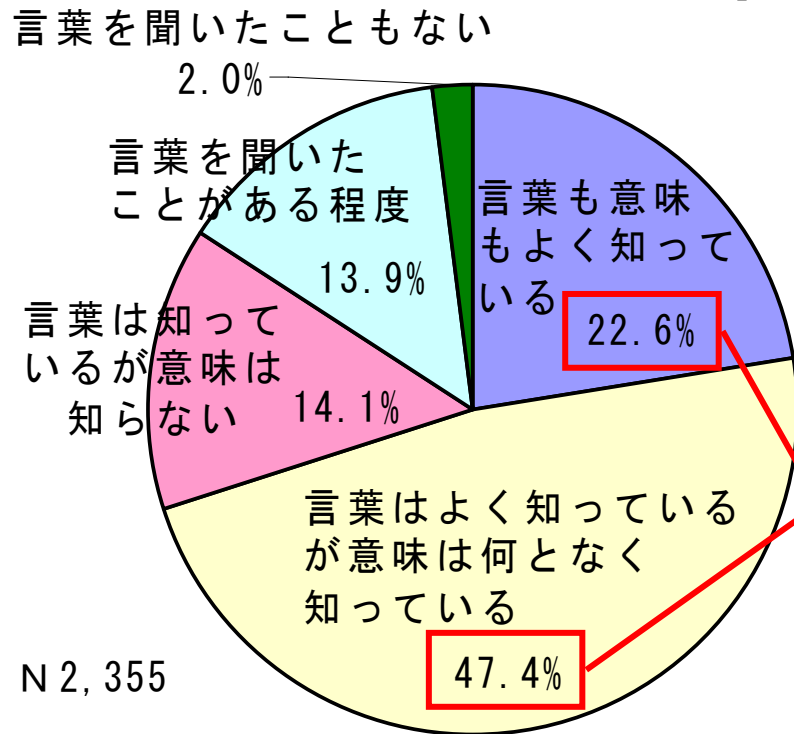


【アンケート】 どの程度認知されているか

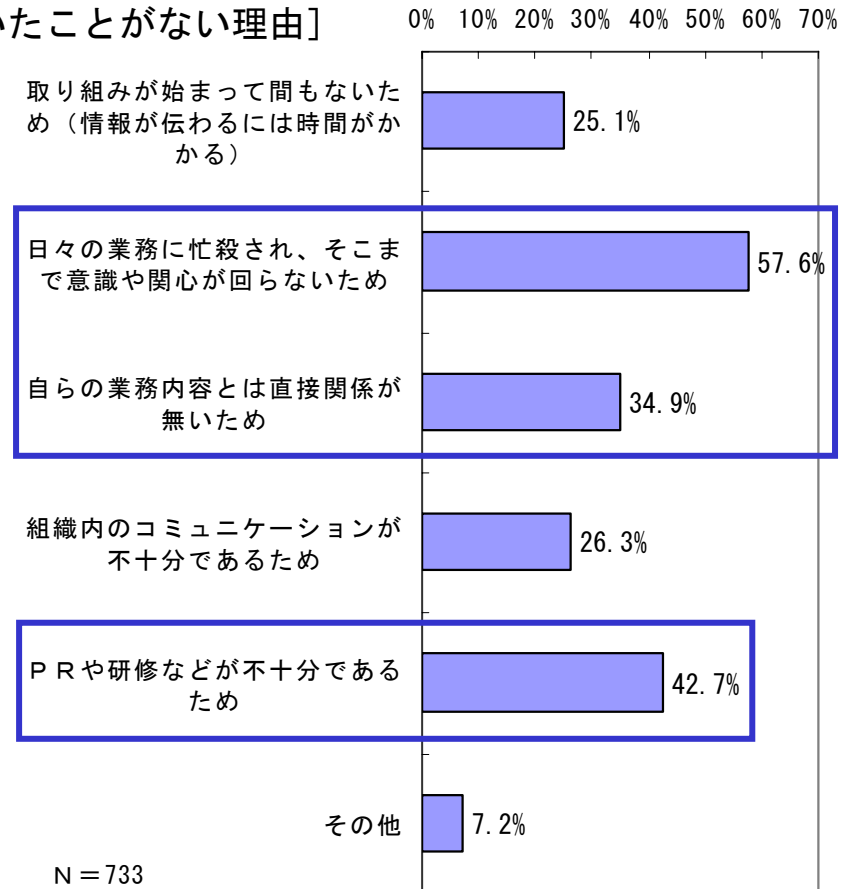
- マネジメントの意味を何らか認知している職員が全体の約7割。
- マネジメントを認知していない大きな理由は、日常業務と関係がない(手一杯/関係ない)、PR・研修不足。

問：「道路行政マネジメント」を推進しています。この「道路行政マネジメント」という言葉や意味についてご存知でしたか？

【全体】



[知らない/聞いたことがない理由]



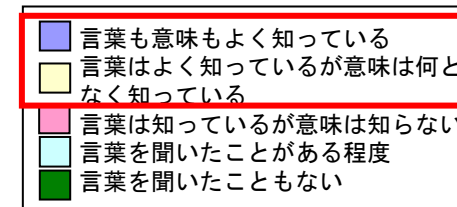
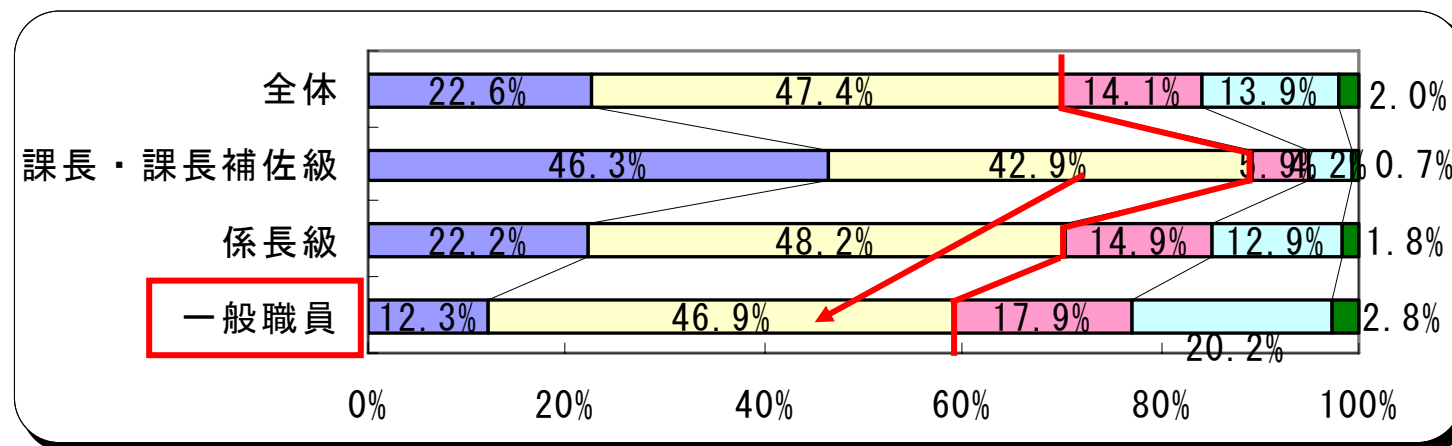
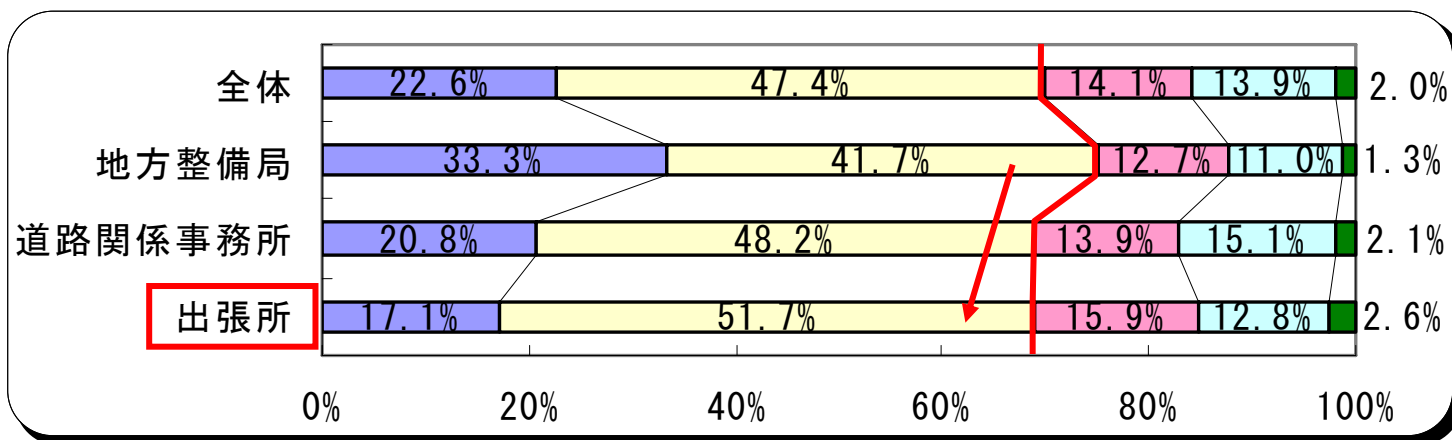
※「言葉は知っているが意味は知らない」、「言葉を聞いたことがある程度」、「言葉を聞いたこともない」とした回答者を対象に理由を尋ねた。

【アンケート】 どの程度認知されているか

マネジメントの浸透度合いは、所属別では出張所、役職別では一般職員ほど低い

問：「道路行政マネジメント」を推進しています。この「道路行政マネジメント」という言葉や意味についてご存知でしたか？

【属性別】



【アンケート】 浸透のきっかけについて

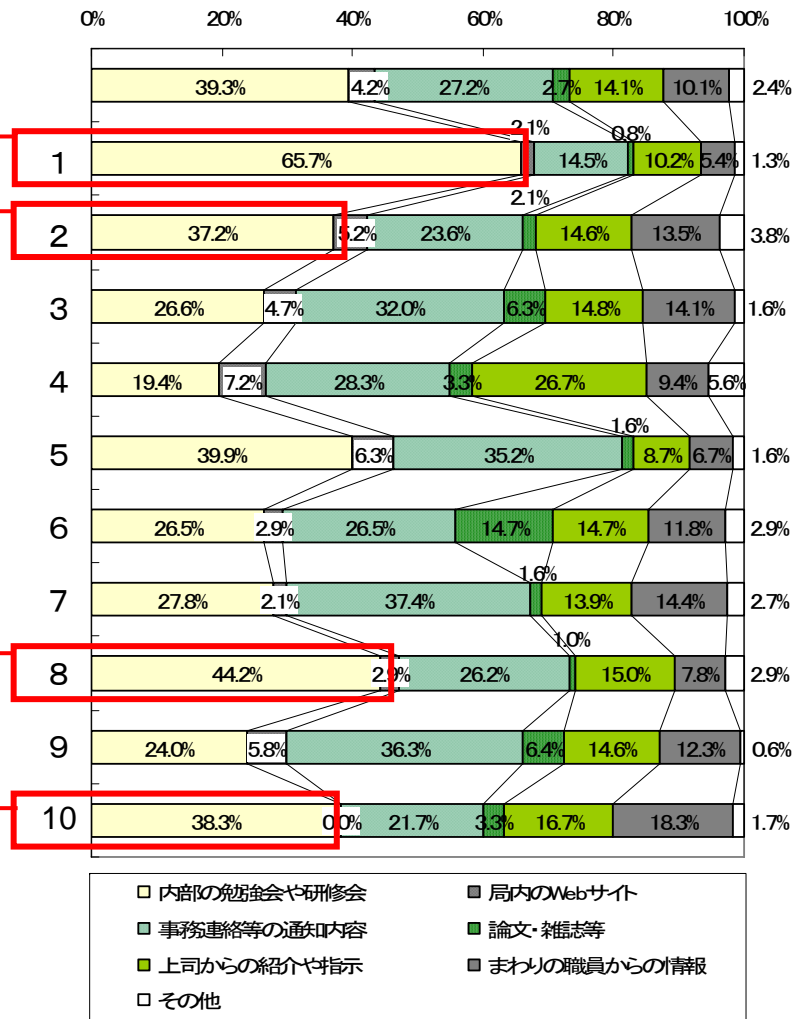
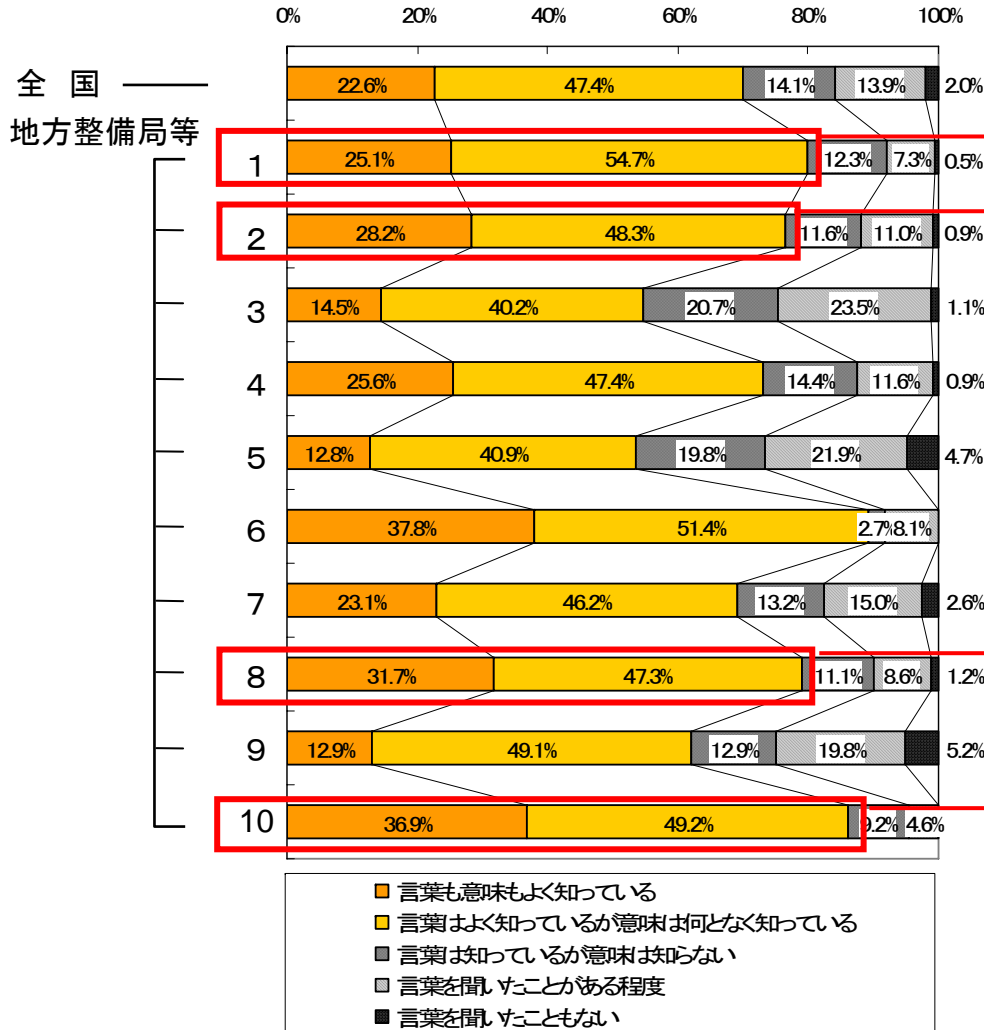
○地方整備局毎に浸透度合いは異なる。 内部勉強会や研修等が浸透に寄与している。

問：「道路行政マネジメント」を推進しています。この「道路行政マネジメント」という言葉や意味についてご存知でしたか？

問：「道路行政マネジメント」という言葉やその意味について、最初に何を通じて知りましたか？

【地整等別】

【地整等別】



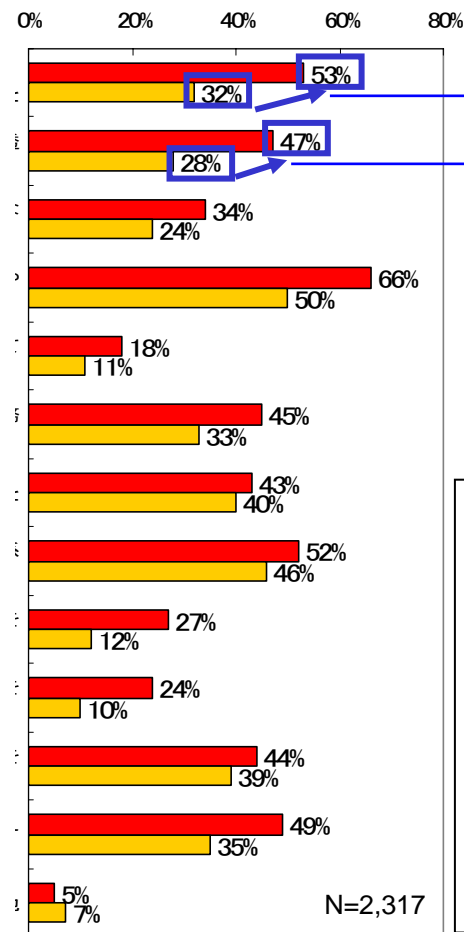
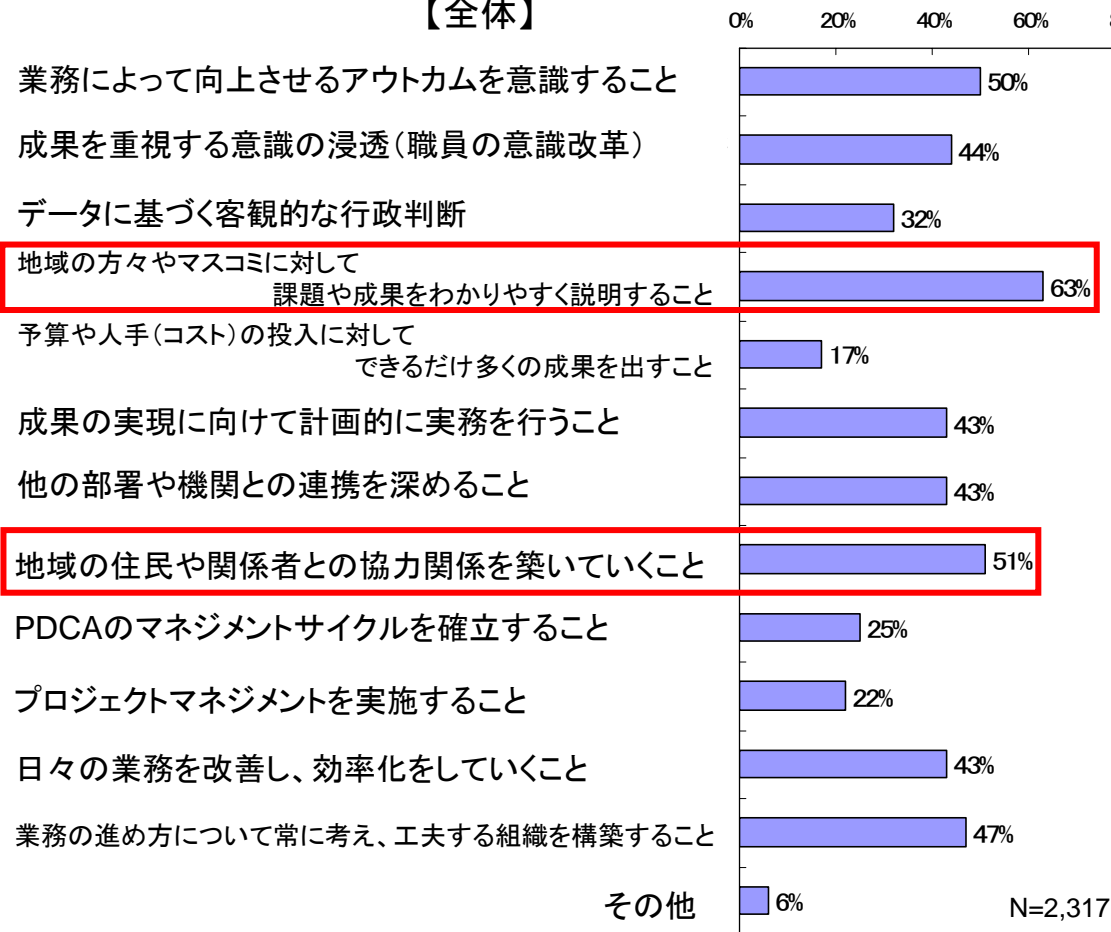
【アンケート】 意識：マネジメントで目指すべきことは

○地域や関係者など周囲の理解や協力が必要との意識

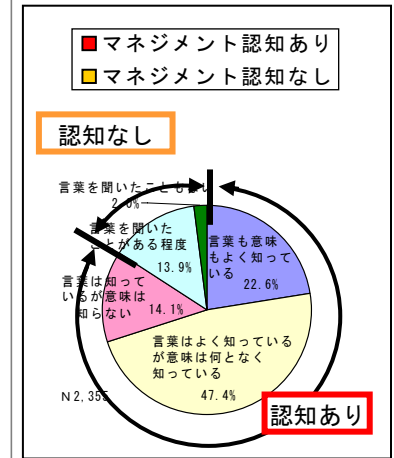
○マネジメントを認知している職員は、アウトカム志向、成果重視の意識が強い

問：「道路行政マネジメント」を推進する上で、あなたが目指すべきと考えること、必要だと考えることはどのようなことでしょうか？

【全体】



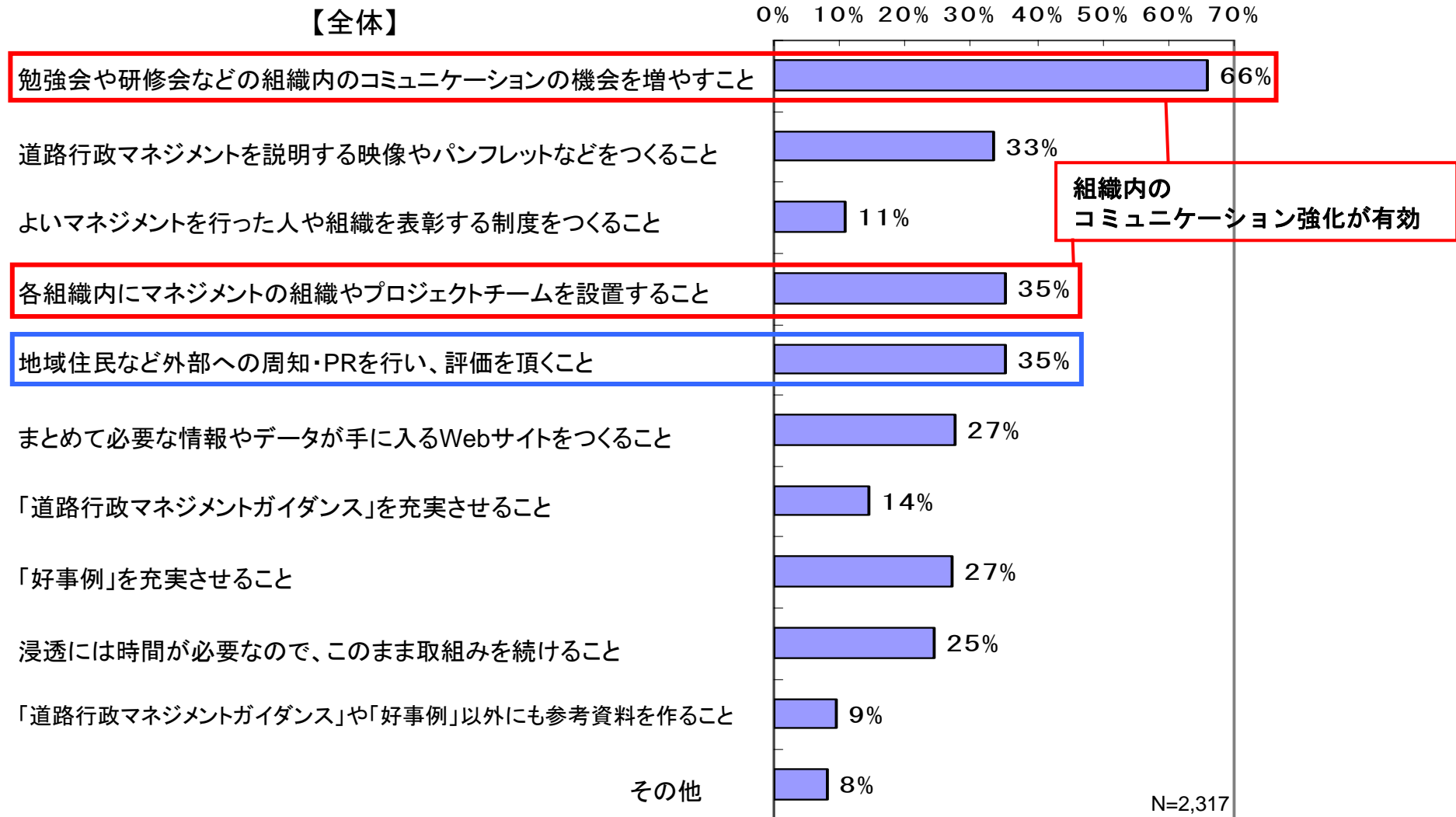
業務によって向上させるアウトカムを意識すること
成果を重視する意識の浸透(職員の意識改革)



【アンケート】 マネジメントに関心は持てるか

- マネジメントへの関心を持つには、組織内のコミュニケーション強化が有効とする職員が多い
- 関心を持つための動機として、外部からの評価をあげる声も高い

問 : 今後さらに関心を持っていただくためには、どのようなことを行うことが有効でしょうか？

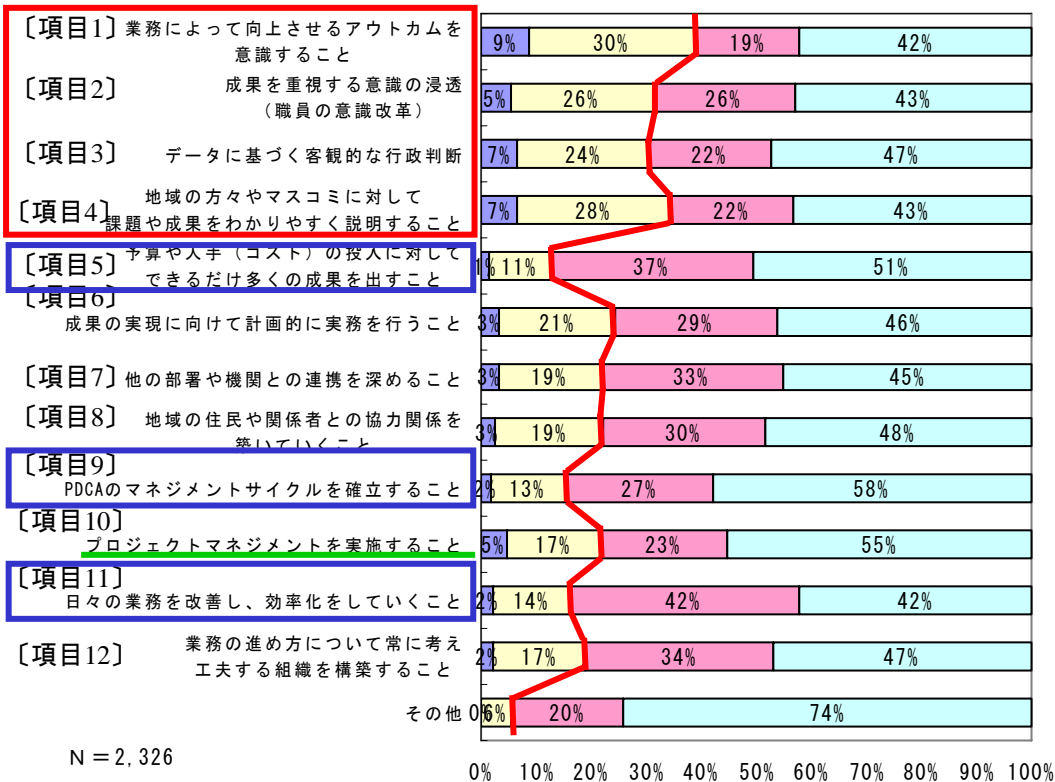


【アンケート】 実感：取組みの改善を実感できるか

- アウトカム志向、成果重視、客観的行政判断、わかりやすい説明について、何らかの改善を実感している職員が3割以上
- 改善の実感が低い項目は、コスト意識、そのためのPDCAの確立、日常の業務効率化

問：皆さんの業務において以下の点が改善されたと実感できるでしょうか？

【全体】



■改善された □少しは改善された □改善されたとはいえない □分からない

【改善の実感 代表意見】

- 〔項目1〕事業の緊急性、優先整備箇所の選定等に成果を意識するようになった。（事務所、課長・課長補佐級）
- 〔項目2〕組織が共通認識を持って成果をあげることを目標として取り組むようになった。（事務所、課長・課長補佐級）
- 〔項目3〕事務所のパンフレット、広報誌、記者発表におけるデータ指標の増加。（事務所、課長・課長補佐級）
- 〔項目4〕事業パンフレット等が、以前と比べて一般の方が見てもわかりやすい資料内容となったこと。（事務所、課長・課長補佐級）
- 〔項目5〕国民の皆様からお預かりした税金を、有効に使わなければならないとの意識が向上したと思う。（事務所、一般職員）
- 〔項目6〕対策箇所の優先順位をつけることにより計画性が改善された。（事務所、係長級）
- 〔項目7〕他の部署の業務について意識するようになり、一体的な関わりを実践するようになった。（整備局、課長・課長補佐級）
- 〔項目8〕地域ニーズを把握するため、住民との協力関係を意識するようになった。（建設部、係長級）
- 〔項目9〕日常の業務において、可能な範囲でPDCAを用いるようになった。（建設部、課長・課長補佐級）
- 〔項目10〕事務所内で事業進捗のデータを共有し、チェックする体制を整えた。（事務所、係長級）
- 〔項目11〕業務全般に対して無駄を徹底して省いていこうとする動きが見られる。（事務所、一般職員）
- 〔項目12〕週1の課幹部会を実施し業務の進め方を議論している。（事務所、その他役職）